

ヴィアアティーン Bリーグ参入

バスケットボールチーム「ヴィアアティーン三重」(四日市市)が、プロリーグ「Bリーグ」のB3に2022〜23年シーズンから参入することが決まった。県内初のプロチームとなり、10日に記者会見した運営会社の後藤大介社長は「地域の方々の期待を背負って参入できるのは非常にうれしい。魅力ある試合をお届けしたい」と抱負を語った。

チームは、昨秋に開催予定だった「三重とわか国体」に向けて、サッカーやバレーボールチームも運営する総合型スポーツクラブ「ヴィアアティーン三重ファミリークラブ」が20年3月に発足させた。県リーグをスタートに、昨年度は東海・北信越リーグに参加し、腕を磨いてきた。

意気込みを語るヴィアティーンの河井選手(左端)ら(四日市市で)

「バスケット盛り上げたい」

プで準優勝を果たした。

B3参入には、観客動員数や収益などの諸条件を満たすことが必要。バスケット教室開催など地域に根ざした活動に取り組んでいる点も評価された。チームを支えるスポンサーは現在約20社、ファンクラブの会員数は約200人という。

チームはこの日、スポンサーの伊藤製作所(四日市市)で記者会見。同社社員でもある河井竜選手(24)は「自分たちのプレーを見せて、子どもたちに夢を持ってもらいたい。チーム一丸

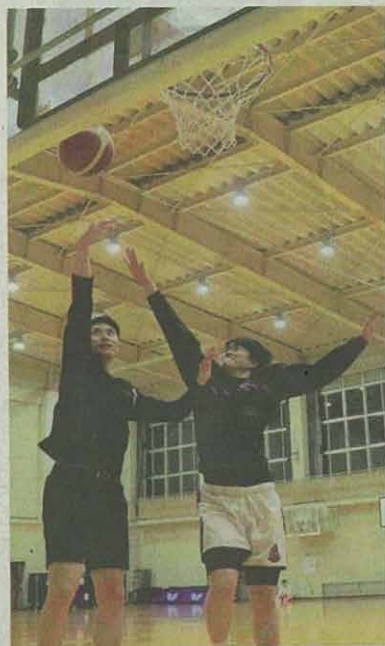
となって優勝を目指して頑張りたい」と意気込んだ。

シーズンは9月末頃に県内で開幕し、来年5月までに15チームと計52試合を戦う予定だ。チームは現在、四日市市と津市、桑名市と包括連携協定を結んでおり、試合は四日市市総合体育館や、津市の安濃中央総合公園内体育館などで行われる。条件を満たした上位チームは、B2に昇格できる。

*

Bリーグ参入を目指して、これまで選手たちは仕事後の平日夜と土日に、県立四日市高校の体育館などで練習を重ねてきた。

津市出身の佐藤孝哉選手(24)は「まだまだ三重でバスケットは名ではないので、参入を機にたくさんの方々に試合を見に来てほしい、盛り上げていきたい」と期待する。B1でのプレー経験もある溝口秀人選手(34)は「いろんな方の支えで参入できたいので、プレーで恩返ししたい。若い力とベテランが融合したチーム力が武器。シュートを決めたときの爽快感やスピード感を間近で楽しんでもらえたら」と話している。



四日市市高校の体育館で練習する選手ら＝反保真優撮影

ヴィアティンB3参入

バスケット「これからがスタート」 県勢初

バスケットボールのB3リーグに県内チームで初めて参戦するヴィアティン三重が十日、四日市市内で会見を開いた。四日市市を中

心に北中勢エリアを活動拠点とし今年秋に開幕する2022-23シーズンから参入する。サッカー、バレーなど全

国リーグで活動する複数のスポーツチームを運営する総合型スポーツクラブ「ヴィアティン三重ファミリークラブ」が二年前に発足。県社会人リーグから出発し昨年地域リーグの「東海・北信越リーグ」に参戦。同年九月のB3リーグ理事会で行われた公式試合参加資格の一次審査を通過し、今年四月最終審査に合格した。

ユニホームスポンサー契約を結ぶ伊藤製作所本社(四日市市広永町)で会見したヴィアティン三重ファミリークラブの後藤大介社長は「これからがスタート。魅力ある試合にクリニック開催などの地元貢献を通じ地域の人々に存在を知ってもらいたい」と節目の年を迎える心境を語った。

22-23シーズンは今年十月ごろ開幕。ホームゲームは四日市市総合体育館などでの開催を予定しているという。伊藤製作所の伊藤澄夫社長は「未永く活動できるチームに」と今後の成長を期待し、同社所属の鹿児島出身の河井竜選手は「子供たちに夢を与えられる選手になりたい」と抱負を語った。



ユニホームスポンサー契約を結んだ伊藤製作所の伊藤澄夫社長(左端から2人目)と会見に臨んだヴィアティン三重の(左端から)河井竜選手、後藤大介社長、中西康介バスケットボール事業部長、県バスケットボール協会の横山俊幸専務理事、四日市市広永町の伊藤製作所本社で

スポーツのクラブチーム運営するヴィアティン三重ファミリークラブ(本社)の「B3リーグ」への加盟決定を報告した。

ヴィアティン三重ファミリークラブ バスケット「B3リーグ」加盟決定

伊藤製作所で記者会見



伊藤製作所本社で開かれた会見(左から河井選手、伊藤社長、後藤社長)

盟となった。B3リーグ加盟は三重県初。

後藤社長は「新しく若いクラブ。地元での試合が多く、魅力ある試合をお届けし、イベントや教室などを通して地域の人に我々の存在を知っていただきたい」と抱負を語った。

伊藤製作所は、1年目からユニホームスポンサーとなり、河井竜選手を雇用するなど支援してきた。同社の伊藤澄夫社長は「国体は残念ながら開催されなかったが、これから未永くBリーグでレベルを上げていただくことを楽しみにしていきたい。今後もサポートしていきたい」と期待した。

B3リーグの22・23シーズンは、10月から来年5月まで52試合を開催し、うち26試合が三重県内で開かれる予定。

桑名市和泉、後藤大介社長は10日、四日市市広永町の伊藤製作所本社で会見を開き、男子バスケットボール同チームは、2021年に開催予定だった「三重とこわか国体」に向けて20年3月に発足。3年目での加

テイルルーム

活性化に貢献

▽：「プロスポーツを盛り上げ地域の活性化に貢献したい」と語るのは、プレス部品加



10日にユニホームスポンサー契約（継続）を締結（中央が伊藤さん）

工や順送り金型の製造販売が主力の伊藤製作所（三重県四日市市）社長の伊藤澄夫さん。

▽：2020年から地域のバスケットボールチーム、ヴィアティン三重のユニホームスポンサーを続ける。

「社員の中にもヴィアティン三重の選手がいる」と胸を張る。

▽：高校時代はバスケットボール部で練習に明け暮れた。「アシスト、シュート、リバウンド」という動きの速いプレーは、企業サイドの目線でも参考になる点がある」という。（津）